

9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間

県では農作業での事故を防止するため、毎年9月15日～11月15日を「秋の農作業安全月間」として注意を呼び掛けています。



本年度も、農作業中の事故が発生しています。岩手県のデータによると、年平均で約11件の死亡事故が発生しています。そのうち、機械による事故は全体の約7割と1番多く、乗用型トラクターによる事故が約3割、歩行型トラクターや運搬機による事故も一定の割合で発生しています。また近年、特に65歳以上の高齢者が亡くなるケースが増えていくことから、ご家族、地域の皆

コンバイン事故の四つの特徴

- ①移動・走行中の事故(34.7%)
【事例】後退時の確認不足
【対処方法】補助者による誘導、合図の確認
- ②作業中の詰まり除去時の事故(20.4%)
【事例】機械稼働中の詰まり除去
【対処方法】エンジン停止の徹底
- ③点検・整備中の事故(16.8%)
【事例】回転部への注油、詰まり除去
【対処方法】作業手順の順守、エンジン停止
- ④手こぎ作業の際の事故(14.3%)
【事例】衣服のチェーン引っ掛け
【対処方法】作業に適した服装の徹底



ー「農林水産省農作業安全リスクカルテ」より

【問い合わせ】
農政課(☎23-1400)

さんによる事故防止のための「一声かけ」をお願いします。

■見直そう! 農業機械作業の安全対策

秋は日没が早まることで農作業事故の危険性が高まります。農作業を始める前や、農作業中に次の動作に移る時には、深呼吸や指差し呼称をしましょう。慌てからくるミスや、慣れによるうっかりミスを防ぐため、初心に返って無理のない作業を心掛けましょう。

また、トラクターへの安全フレームやシートベルトなどの装備の追加や、作業を行う圃場の危険箇所の確認など、いま一度基本事項を確認し安全に農作業を進めましょう。

万が一事故が起きた場合に備えて、携帯電話を身に着け、家族に事前に作業場所・内容を伝えておくことを徹底しましょう。



9月21日～30日は秋の全国交通安全運動

期間中は交通安全を呼びかける啓発活動などを実施します。この機会にご自身の交通マナーを確認し、交通安全への意識を高めましょう。

また、9月30日(木)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。一人一人が交通ルールを守り、交通事故をなくしましょう。

■スローガン
「夕暮れ時 あなたを守る 反射材」

- 運動の重点
▶子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保
▶夕暮れ時・夜間の事故防止と歩行者の保護など安全運転意識の向上
▶自転車の安全確保と交通ルール順守の徹底
▶飲酒運転などの悪質・危険な運転の根絶
- 問い合わせ 新館市民生活総合相談センター(☎41-3551)

地域おこし協力隊が退任します

【問い合わせ】
本館定住推進課(☎41-3516)

平成30年10月に着任し活動してきた川口摩弓隊員、塩野タ子隊員の2人が、9月30日付で退任します。退任する2人にそれぞれこれまでの活動の振り返りを聞きました。

川口 摩弓隊員(グリーンツーリズム担当).....

「グリーンツーリズム担当」として東和町に着任し、3年間という短いような長いような年月、今まで生活していた中では体験できないことや勉強を多岐にわたり経験しました。日々の生活も東京とは違った時間軸で流れており、多くの花巻の魅力を発見し、発見したことを伝え、花巻の「食」の魅力を発信し多くの人に知ってもらいたいでいきたいと思うようになりました。

合鴨農法のPRも兼ねて「かもごはん会」、りんご摘み取り体験「りんごの木の下読書会」、東京では「花巻食堂」を開催するなど、イベントを中心としたPR活動を行いました。また、米のおいしさを再発見してほしいという願いで高校生を対象に講演するなど、未体験ゾーンと格闘しつつも楽しみながら過ごした3年間でした。

合鴨農法で育てている「陸羽132号」は、令和4年度に日本酒になることが決まり、米を通じて人と人をつなげることができた喜びでいっぱいです。

今後は東和町に定住し、新規就農を目指し、地域の人と一緒に工房をお借りしながらお土産開発などに取り組んでいきます。



①退任する川口隊員
②川口隊員企画の「りんごの木の下読書会」のチラシ
③稲刈りをする川口隊員

塩野 タ子隊員(シティプロモーション担当).....



「花巻にゆかりのない私が移住するなんて大丈夫だろうか…」と不安とともにリュックを抱えながら、引っ越して来た日のことがつい昨日のように思い出せます。今の私から「大丈夫! 毎日楽しく暮らしているよ」と言えることが、ちょっと誇らしいです。

仕事の日も休みの日も、花巻や大好きな宮沢賢治さんのことをもっと知りたいという思いで走り回っていた1年目。経験を少しずつ重ねて、友達もでき、人とのつながりができてきたのが2年目。仲間たちに支えてもらいながら、慣れないイベントにも挑戦しました。そしていよいよ定住の準備が始まった3年目。新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限され、オンラインの活用など新しいことへの挑戦に苦労しましたが、そこから見えた道も確かにありました。

3年間を通して、こんなに自分の得意なことを存分に発揮できた仕事は初めてだったと感じています。今後も「花巻で暮らす宮沢賢治ファン」として、実体験を重ねながら花巻の面白さを発信していきたいと思っています。